

12 月度木曜例会 (2016/12/01)

ゲストスピーカーは Morocco の Mr.Lemlih Abderrahaman、Abe さんと呼んでくださいとの事です。今年の 2 月木曜例会に引き続き 2 度目のご登場ですが今回のテーマは:North Africa

Berbers and Arabs – Ancient & Modern、本論に入る前に先回の内容を読み直して頂くと非常に理解しやすいと思われまので是非再読を。去年の 3 月来日、日本人の奥さん、4 人の子供さんと茨木市に居を構えています。事前のメールアナウンス文から Abe さんはベルベル人なのだろうと予測できましたが、のっけからの内容がえっ！と驚くものでした。Morocco ではベルベル語の名前

が不法なのだそうです。でも現在小学生の二人のお嬢さんの名前は Tilila Doki, Tayri Doki Tilila はベルベル語で freedom, Tayri は love の意味ですがどうして？国が指定したアラビア語の中から名前を選ばなければいけないそうですが敢えてこの名前を付けました。奥さんが日本人だから日本大使館に出向き、そこでパスポートを取得、結果市役所の彼らは後から何も出来なかったそうです。本日の趣旨、テーマの内容はどうもこのあたりに有りそうですね。



Hercules cave

Morocco を象徴する観光名所。ジブラルタル海峡の先にはスペイン。形状がアフリカそのものです。アラビア語で Al-Magrib,英語では Morocco, その意味するところは Land of the Extreme West, last Arab Muslim country where the sun goes down. この cave はずばり北アフリカの最西部の国 Morocco そのものです。現在北アフリカ諸国の人々の 60%はアラブ人ではなく生え抜きのアフリカ人です。

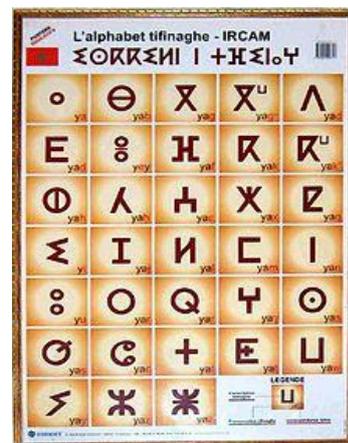
ベルベル人

北アフリカに数千年前から住み着いているアフリカ民族で現在は 3~5 千万の人口を持ち国別割合ではモロッコの 60%、アルジェリア 40%、リビア 35%、チュニジア 20%、エジプト 10%がベルベル人です。この数字西に行けば行くほど割合が多くなっていますが理由は？アラブの東からの侵入に対しどんどん西へ逃れたもののモロッコで大西洋に。一部はサハラ砂漠に、モーリタニアにと逃れましたが結果現在に至った訳です。

Berbers or Amazigh, plural Imazighen がこの民族の呼称で、その意味は Freeman, free human です。

また 2 千年以上の歴史を持つ言語は Tamazight 語でアルファベットは Tifinagh、その意味するところは All people are born free and equal in dignity and right. という事です。

彼らの日常生活光景の一部を紹介します。家族揃って床に座りクスクスを手で食べていたり、コーランを読んでいたり。コーランは木製ボードで黒いインクで書かれています。アラブ人はボンネット、ベルベル人はターバンを頭に。ちなみに宗教はイスラム教スンニ派です。



プレ-イスラミックの遺跡 Volubilis から始まりベルベルダイナシティの Almoravids, Almohad, 探検家 Ibn Battuta やベルベル、北アフリカの歴史紹介、アラブの春にと話が進みます。



ところがこの **Amazigh language** は公用語としてモロッコを除いては認められていません。2011年アラブの春以降初めてモロッコで第二公用語として認められました。何しろ人口の60%はベルベル人ですから。TV、道路標識等順次アラビア語 **Amazigh** 語が併記されるようになりました。アラブの春のデモ光景とベルベルの旗も紹介しましょう。当然各国のベルベル人同一旗です。

Gibraltar

アフリカとヨーロッパを横切る重要な海峡の名前の由来です。ジブルは山、タールは兵士の意味で711年ベルベル人 **Jabal al-Tariq** 率いる大軍がスペインを攻撃、スペインの港で乗ってきた船すべてを焼き尽くし兵士たちに退路なし、進軍あるのみと鼓舞、結果スペインを制服しました。そこからジブラルタルに。



Conclusion

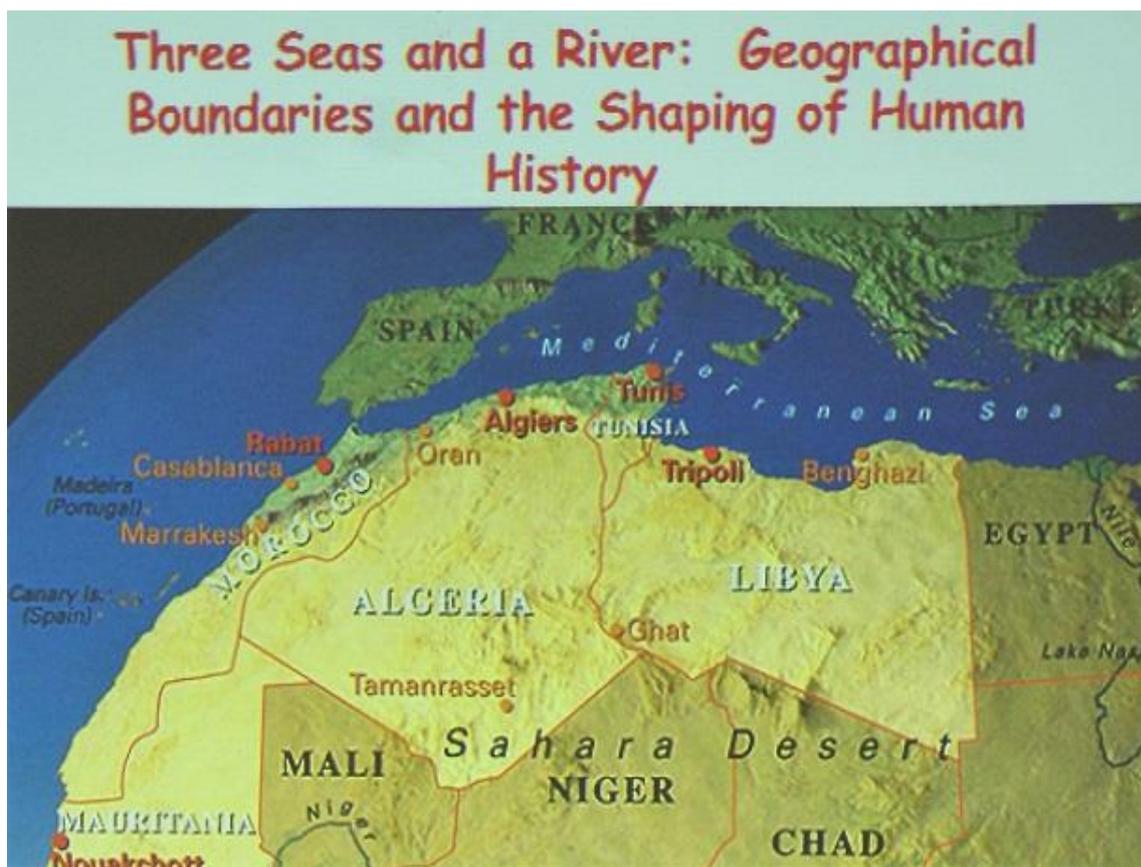
北アフリカのベルベル人たちは、発展の初期の段階から常に巨大な文明との交錯の中で動乱の歴史に見舞われて来ました。現在も人種差別主義者たちによるアラブ化の圧力の中にあります。しかし、ベルベル人たちは自分たちの伝統的な生活様式を守り続け、最近はいろんな分野で成功を収めつつもあります。

最初に述べた娘たちの名前のエピソードの意味がお分かりいただけたいでしょう。

Q&A

- バーバリアンという言葉はあまり良い意味に使われませんが、そう呼ばれても気になりませんか？ **Amazigh** と呼ばれた方が良いのですか？
全然構いません。かってジブラルタル海峡、地中海沿岸を荒し回っていた海賊がベルベル人だったことから野蛮人として一般化したのでしょう。でも順次 **Amazigh** と呼ぶ割合が増えています。

- ジブラルタルは分かりますがカサブランカはスペイン語ですよね。なぜ？
支配されていた国によります。モロッコは北と南がスペインに、中央部がフランスに支配されていました。ちなみにカサは家、ブランカは白です。
- 神戸に住むモロッコ人の友達から、アルガンオイルの生産によって、モロッコの女性の生活が向上した、と聞きました。モロッコ以外の北アフリカの国では？
この樹はモロッコの山岳地帯の一部にしか生育しません。成長も遅く1m伸びるのに70年、2m100年かかります。アルガンナツツ 5kg から1リットル採れますが美容効果抜群で世界的に大人気です。
- 独立前後の国の顕著な変化は？
なぜ長らくフランスに支配されていたかと言うと豊富な天然資源、漁獲高、地勢上の重要地点からです。特にリンは豊富です。これは土壌に対する肥料として将来石油より重要な位置付けとなるでしょう。世界各国の土壌は非常に疲弊していますから。独立によって資源から得られる富の活用、教育の向上、その他多くが改善されるべきところですが国王ハッサン2世の悪政で改革が進まず、後継者ムハンマド6世となった今チャンス到来という感じです。
- 婦人たちがお葬式に赤いウエアを着ている写真がありました。習慣なのですか？
いえいえ、部族によりけりです。アトラス山の麓部族は赤を着ますが私の祖先の所、南部モロッコでは黒字のウエア、白いベール、赤いスカーフの女性は既婚を意味します。部族ごとに様々です。
- ヨーロッパにはベルベル人はどれくらい住んでいるのですか？それとサッカー選手ジダンも確かベルベルでしたよね。
第2次大戦後多くの戦死者を出したヨーロッパ各国は労働力を必要としました。ベルベル人は勤勉で仕事熱心ですからドイツ、フランス、オランダなどに移民し重宝されました。特にドイツ語、オランダ語はベルベル語と発音の形が似ているので言葉の理解には有利でした。ジダンはベルベルのエスニックグループの一つであるアルジェリア Amazigh の Kabylie 部族出身でフランス移民の子孫、頭突き問題がありましたよね。(原因はこれだったんですね)



2011年アラブの春以降多くのヨーロッパ諸国に住む **Amazigh** のデモが見られました。同一の旗を掲げベルベル語を公用語として認めて欲しい、最低賃金の保証、女性の人権向上、その他基本的な権利の確保をスローガンとしてです。モロッコではようやく第 2 公用語として認められました。また離婚も女性の同意なければ出来ない、アラブでは 4 人まで妻帯できたが以降妻の同意なければ二人目とは結婚できない、等イスラムの決まり事に少しずつ変化が見られます。

後記) Abe さんの話を伺ってこんな点が気になりました。

アフリカの人口約 10 億、ベルベル人以外にどのような民族がどれくらいいて、どのような歴史と文化を持ちその今後は？

アラブの春その後の各国状況は？

中国とアフリカの関係は？

Abe さん、ありがとうございました。

